

平成 26 年 1 月 8 日

平成 25 年度 大学院の教育・研究等に関するアンケート結果の総括

福山大学 大学院・学術研究委員会

委員長〈学長〉 松田 文子

担当委員 森田哲生

大学院生を対象に大学院の教育・研究等に関するアンケート調査を実施し、本学における大学院教育の点検の資料として、アンケート集計結果を総括したので報告する。

◇実施期間：平成 25 年 11 月 27 日より 12 月 6 日までの間に行った。

◇調査対象：本学大学院在籍学生、経済学研究科 20 名、人間科学研究科 16 名、工学研究科 23 名、薬学研究 1 名の 59 名のうち、回答者は経済学研究科 18 名、人間科学研究科 13 名、工学研究科 19 名、薬学研究科 1 名の計 51 名であった。

◇設問項目：前年度に実施した大学院授業評価アンケートの一部を変更し、質問を 18 問から 24 問に追加し、詳細な形式とした。

◇結果のまとめ

I 大学院入学の目的について（質問 1, 2）

大学院入学の主たる目的については、文系の経済学研究科や人間科学研究科では、「専門分野の知識を深めたい」を目的とする学生の割合が多数を占め、理系の工学研究科や薬学研究科では「専門分野の知識を深めたい」に加えて「研究を深めたい」との目的が加わり、全研究科においてこれらの学術的な目的での入学者が 66% を占めている。また、主たる目的の回答がないものが多く散見され、さらに、大学院入学の主たる目的に準ずる目的については、複数の回答があった。概して各研究科とも「研究を深めたい」や「専門分野の知識を深めたい」の学術的な目的から、いわゆる現実的な「資格取得」や「就職への有利性」への移行が認められ、主たる目的に準ずる目的においては、全研究科において大学院入学の学術的な目的での入学者は、昨年の 64% から 60% に減じている。すなわち、各研究科とも大学院生は第一義的には専門知識の深化を目指しているように認められるが、回答者の半数近くが、複数の期待をもって、また、それらの活動によって資格の取得や就職に対する有利性を期待しての入学の割合が、昨年度より増加していると思われる。

これらの結果は、大学院入学の目的に対する意識が、文系と理系の学生でほぼ同様な傾向を示しているものの、これまでとやや変化が認められ、「主目的」による進学より、複数の「目的」や「期待」をもって進学をしている傾向を示している。

また、アドミッション・ポリシーの理解は、概ね半数以上のものが十分な理解がないも

のと思われる。

II 大学院の授業について（質問3～質問7）

大学院の授業科目のシラバスの構成（質問3）と内容（質問4）については、全研究科のそれぞれ83%、および82%の学生が「強くそう思う」および「だいたいそう思う」と回答しており、学生にとって十分適正な授業等が展開されていると思われる。しかしながら、期待する授業であると考えていない学生が20%弱はいることを示しており、改善の余地が考えられる。

なお、シラバスにおける授業内容との整合性や授業回数・時間（質問5～7）については、それぞれほぼ記載どおりに実施されているが、10%前後の否定的な意見もあり、当該研究科において検証すべきと思われる。

III 研究指導ならびに研究状況について（質問8～質問15）

研究テーマの決定（質問8）については、全研究科において大学院生のほぼ90%が適切と回答しており、この昨年より8%の増加は学習者である大学院生にたいする教員のより適切な対応が評価されたものと判断されるが、大学院生生活において、大きな割合を占める研究のテーマ選定に、なお、まだ数名の適切と判断していない学生がいることを理解しておく必要があると思われる。各研究科においては、引き続き、研究テーマの決定（質問8）や具体的な研究計画や指導（質問9）について、指導教員と大学院生とのより細かなコミュニケーションを持つなどの更なる改善が考えられる。なお、来年度から、全研究科において、院生個人別の指導計画を作成することとしている。

学位論文の審査やその基準についての指導教員からの説明（質問10）について、87%の学生がこれを受けたと回答しているが、数名の学生がその理解が足りず、また、工学研究科の1名は完全に否定しており、また教員による研究計画の策定が、25%の学生にとって作成に満足していないこと（質問11）は、極めて遺憾である。また、論文の作成に対する教員の熱意について、90%の学生が認めている（質問12）ことから、教員のよりきめ細やかな研究指導とその理解のための協議が必要と思われる。学生自身による研究の進捗度については、33%が不安に思っていることから、教員はより強い研究指導力を発揮し、その解消に当たるべきと考えられる。なお、今年度中に、学位論文の基準についてより明確にし、HP上にも公開する予定である。

問題発見解決能力の向上（質問14）については、全研究科において80%の大学院生が肯定的であり、昨年に比較して20%の増加が認められ、大学院進学による資質の向上の実感が得られている。今後、一層多くの学生が資質の向上を実感し、自信を持って今後を拓いていくよう、引き続き指導方法の改善に努める必要がある。

また、自習時間（質問15）については、およそ35%の学生が十分に確保しておらず、人間科学研究科の修士課程1年、工学研究科修士課程2年以外は、1日0～2時間程度の自習

時間であり、概ね文系は受講科目数が多いほど、理系は受講科目が少ないほど、自習時間を確保している事例が多い。大学院生としての自覚を持って学修する態度を身に付けさせる必要がある。

IV 研究環境について（質問 16～質問 24）

研究上に必要な施設や設備の整備状態（質問 16）については、全研究科において 82% の大学院生が整備されていると回答し、昨年より 25% 増え、改善が進んでいることが示された。しかしながら、約 20% の学生が満足しておらず、より一層の改善を進める必要がある。

図書館の研究上に必要な情報収集環境（質問 17）については 68%、図書館の利用しやすさ（質問 18）については 66% が、肯定的に回答しているが、学部学生より、より一層の情報収集活動を必要としている大学院生のおよそ三分の一が、満足していない状況は早急に改善する必要があると考えられる。

大学院生の経済環境については、全研究科において、奨学金等の第三者による支援（質問 19）については、52% の大学院生が十分でないと考えており、勉学を志す学生に対し、経済的困窮者への何らかの対策を考えることが望まれる。

ティーチングアシスタント(TA)制度（質問 20）については、全研究科において、75% の学生が自分にプラスになっていると考えている。一方で、時間的拘束や経済的問題も含めての改善が、本制度への大学院生の参加と満足度をさらに向上するものと考えられる。

研究室での日常生活や人間関係について、教員とのコミュニケーション（質問 21）は、全研究科において 32%、他の学生との人間関係（質問 22）については 20%、事務職員の対応（質問 23）については 59% の学生が適切でないと回答しており、教員や事務職員、さらには他の学生との日常生活や人間関係の不満足は、研究の進捗に対する不満や大学に対する不信感を引き起こす誘因ともなりかねない。学生に対するより親切な細やかな対応が必要であり、FD や SD においても加味すべき問題と考えられる。

大学院での教育・研究に対する総合的な満足（質問 24）では全研究科において、80% が満足していると回答し、昨年より 5% 程度上昇したが、そのうちの 69% は「だいたいそう思う」であり、31% の学生は「強くそう思ってはいない」。また約 20% の大学院生に不満が残るところから、さらなる満足度の向上を目指した改善が望まれる。

自由記述欄（その他）には、様々な要望が記載されているが、昨年と同様、これらについては個別に検討し、大学全体のレベル、教員レベルおよび職員レベルにおいて、真摯に学生の要望に応えていくよう改善する必要がある。なお、自由記述欄の要望の中で、1号館 5 階の Wi-Fi 環境は、今年度中に整備される予定である。

◇結果への考察・対策

本学大学院への進学者は第一義的には、概ね学術的な研究志向であるが、徐々に進学による期待がより現実的な志向へとなっている。しかしながら、より一層の学修をしたいと

の考えがあることが前提の進学意欲であると考えられるので、大学として学部以上に教育研究の活性化に取り組み、大学院修了後の就職などの支援も含め、大学院生の期待に応じるよう十分な対応が必要と考えられ、このことがさらなる大学院の活性化、進学者の増加にも繋がるものと考えられる。

現状において、大学院生にとって、授業等は概ね満足していると考えられるも、不満を持つ大学院生の割合も少ないとは言えず、さらなる改善の余地があると考えられる。特に大学院の特長である研究テーマの設定、指導、研究の進捗状況に不安を持つ大学院生が少なからずいることは、複数の指導教員間や学修者である大学院生とのコミュニケーションに十分でない点があり、個々の対応の再点検が望まれる。昨年も提起したが、大学院生に対する研究指導体制の改善は、大学院の活性化に繋がるとともに、進学や学術活動への満足感の充足となると考えられ、学部学生の大学院への興味にも大きく影響すると考えられる。大学院生の特長とされる研究活動に対する不満・不安の積極的解消を進めることは、極めて重大な課題と思考する。

研究環境については、昨年度より改善傾向は認められたが、やはり施設・設備面(恐らく研究に対する費用も含め)での不足・不満があり、更なる改善が望まれる。

また、図書館に対する不満は依然として少なからず認められ、研究図書・雑誌等の整備などのハード面とともに、図書館員、司書などの利用におけるソフト面の充実・改善が必要である。

次いで、大学院生の生活面から経済環境として、公的な奨学金制度の整備のみならず、大学による成績上位者でない場合でも、経済的困窮状態にある進学希望者や大学院生に対する経済的支援について、今後、一考する必要がある。

一方、研究室内の人間関係については、最近の多様かつ複雑な社会状況もあるが、大学院生の生活面での問題は、学修状況とも密接に関与しており、大学教職員はもちろん、特に研究室内における他の学生との折り合いも含め、小さな不信感がやがては意思疎通に障害を与え、多彩な問題へと発展しかねないことを慮り、指導教員はもちろんのこと、他の教職員も大学院生の接遇にはきめ細やかな対応が望まれる。

◇大学院生へのフィードバックは、平成26年1～2月に研究科ごとに実施される予定である。

以上

福山大学大学院の教育・研究等に関するアンケート集計結果

- 5：強くそう思う
4：だいたいそう思う
3：どちらともいえない
2：あまりそう思わない
1：まったくそう思わない

I 大学院入学の目的について

【質問1】大学院入学の目的は何ですか。主たる目的に○印、それに準ずる目的に○印をつけてください。（複数選択可）

番号	選択肢	回答欄
1	研究を深めたいから	
2	専門分野の知識を深めたいか	
3	就職に有利であるから	
4	資格を取得したいから	
5	その他（下の記述欄に具体的に記してください）	
記述欄		

進学の目的：主たる目的

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科	2	5	2	3	
人間科学研究科	2	6	1		2
工学研究科	3	4	1	2	
薬学研究科	1				

進学の目的：それに準ずる目的

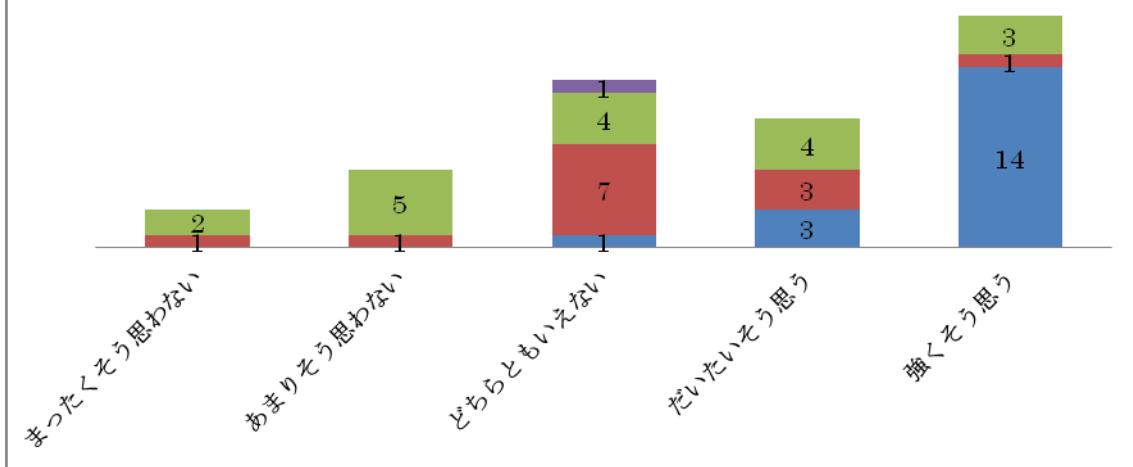
選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科	4	9	7	5	
人間科学研究科	4	3	3	3	1
工学研究科	8	8	3	3	
薬学研究科		1			

【質問2】大学院への進学に際して本学を選択するに当たり、アドミッション・ポリシーを理解して受験しましたか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			1	3	14
人間科学研究科	1	1	7	3	1
工学研究科	2	5	4	4	3
薬学研究科			1		

質問2

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科



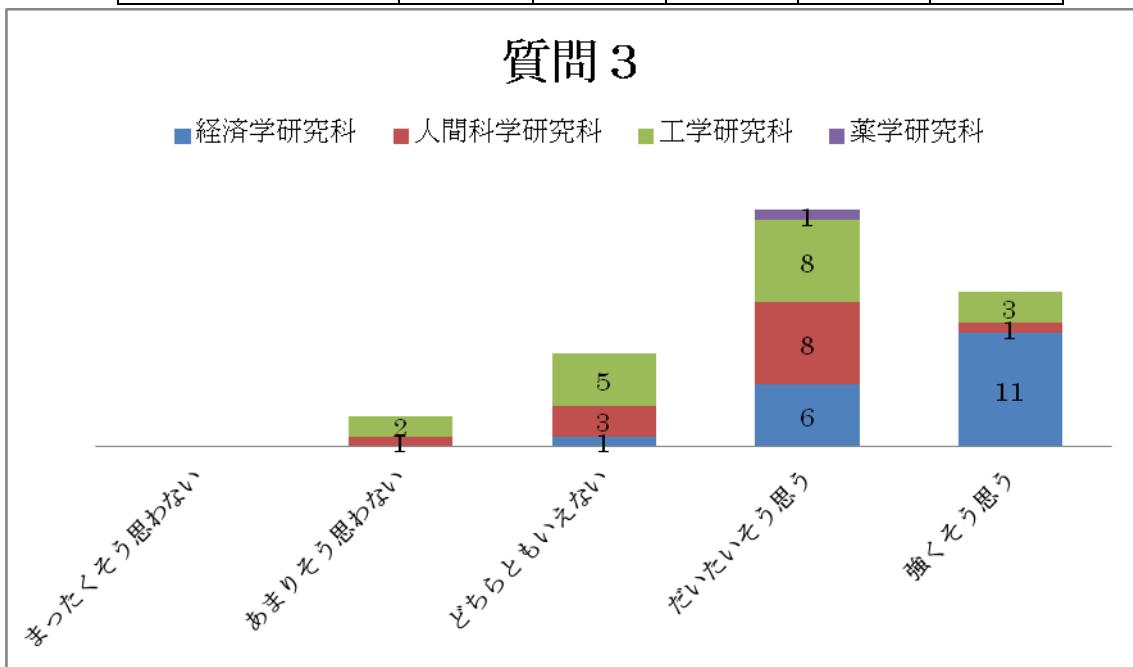
II 大学院の授業について

【質問3】研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに照らして、授業科目の構成は全体として、適正ですか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			1	6	11
人間科学研究科		1	3	8	1
工学研究科		2	5	8	3
薬学研究科				1	

質問3

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

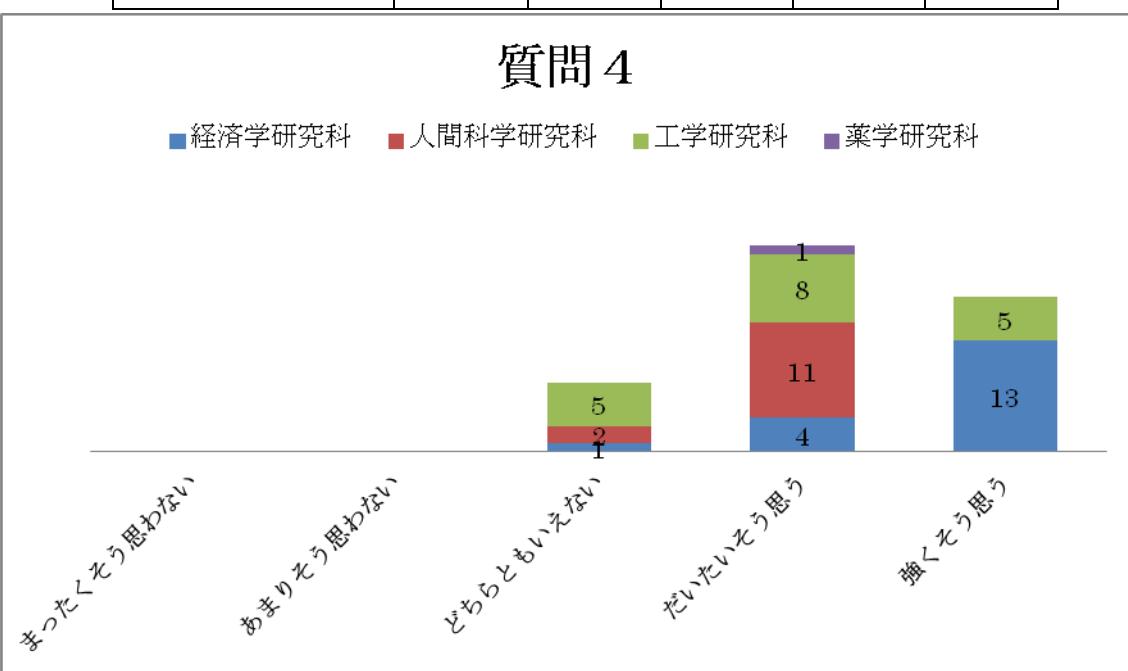


【質問4】シラバスの内容は、ねらい・概要、到着目標、授業計画等の点で、適切ですか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			1	4	13
人間科学研究科			2	11	
工学研究科			5	8	5
薬学研究科				1	

質問4

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

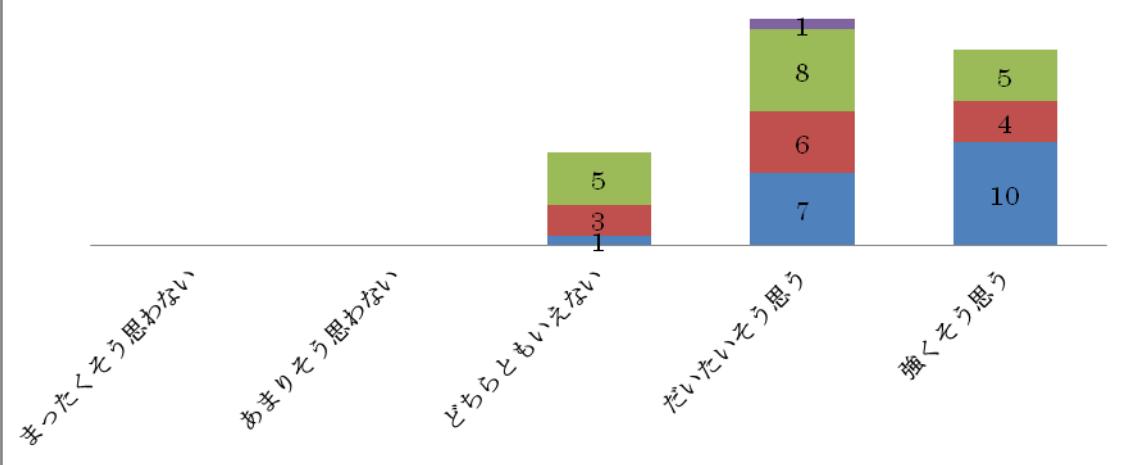


【質問5】授業内容全体として、シラバスの内容を十分カバーしていますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			1	7	10
人間科学研究科			3	6	4
工学研究科			5	8	5
薬学研究科				1	

質問5

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

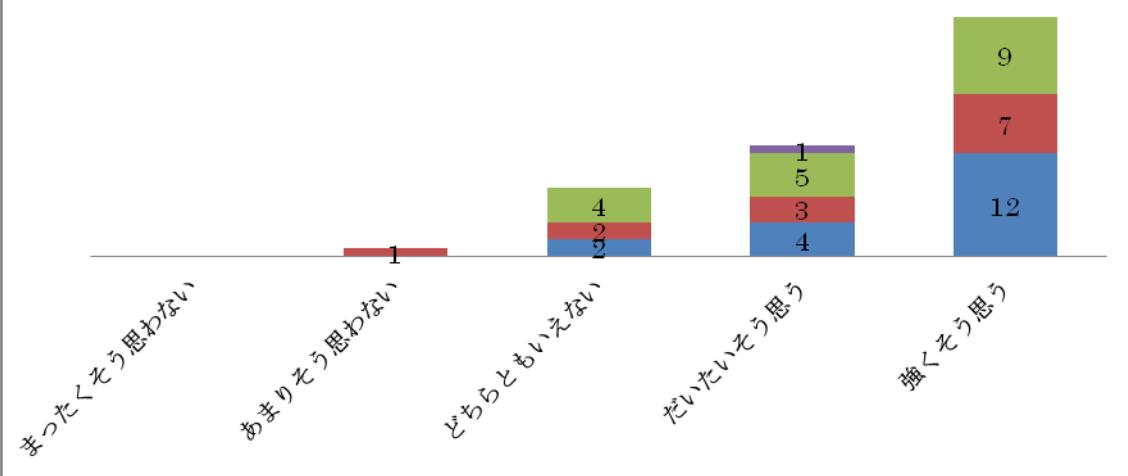


【質問6】授業回数や授業時間はシラバスの記載通りでしたか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			2	4	12
人間科学研究科		1	2	3	7
工学研究科			4	5	9
薬学研究科				1	

質問6

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

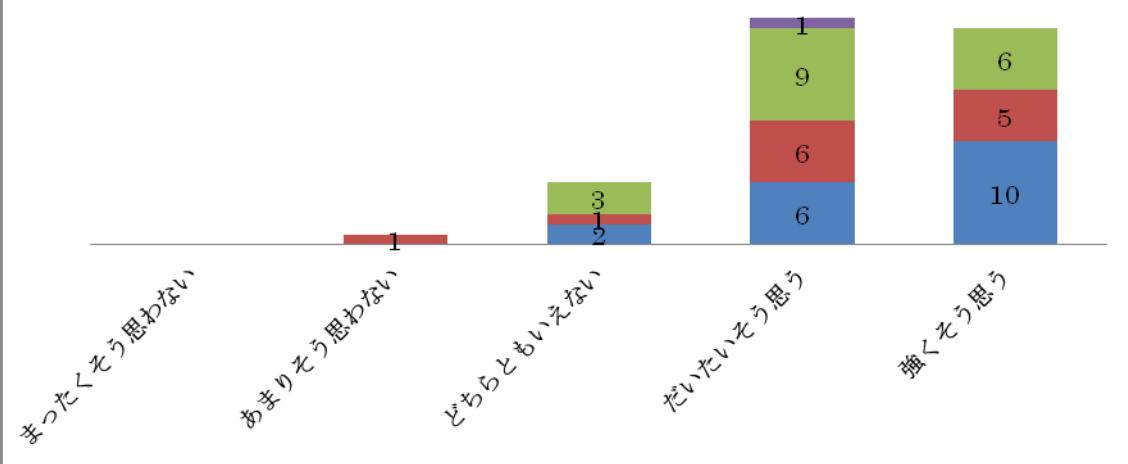


【質問7】授業方法は、シラバスに照らし、全体として適切ですか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			2	6	10
人間科学研究科		1	1	6	5
工学研究科			3	9	6
薬学研究科				1	

質問7

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科



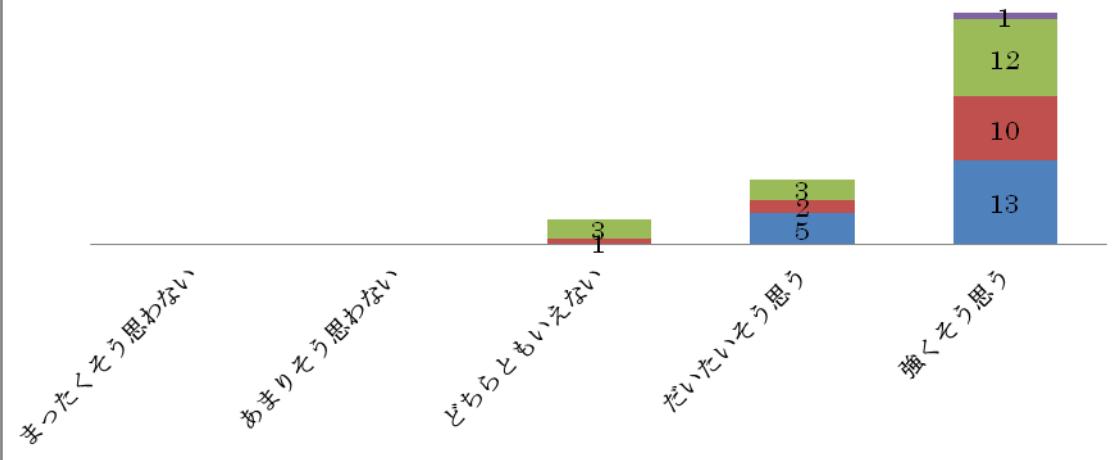
III 研究指導ならびに研究状況について

【質問8】研究テーマを決定するに当たり、指導教員や副指導教員（以下「指導教員等」という）と十分話し合いをしましたか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科				5	13
人間科学研究科			1	2	10
工学研究科			3	3	12
薬学研究科					1

質問8

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

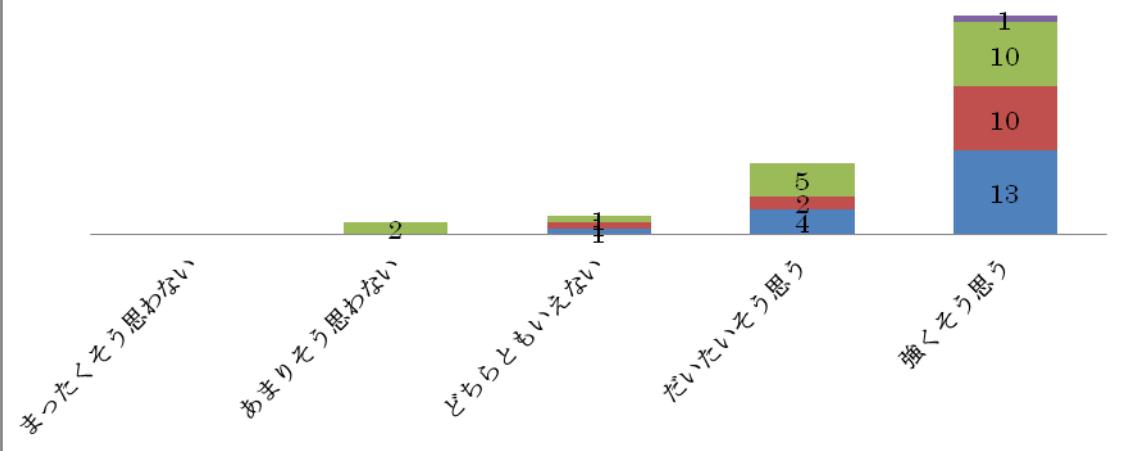


【質問9】研究を始めるにあたり、指導教員等は全体であるいは個別に、ディプロマ・ポリシーに基づく今後の具体的な計画や指導について、ガイダンスやオリエンテーションをしましたか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			1	4	13
人間科学研究科			1	2	10
工学研究科		2	1	5	10
薬学研究科					1

質問9

■ 経済学研究科 ■ 人間科学研究科 ■ 工学研究科 ■ 薬学研究科

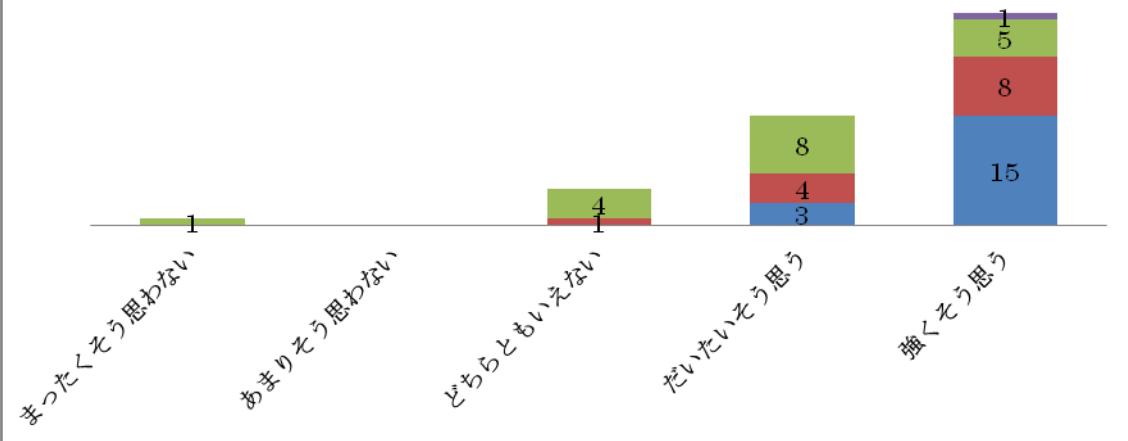


【質問10】学位論文の審査手続き、内容の基準について指導教員等から全体であるいは個別に、説明を受けましたか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科				3	15
人間科学研究科			1	4	8
工学研究科	1		4	8	5
薬学研究科					1

質問10

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

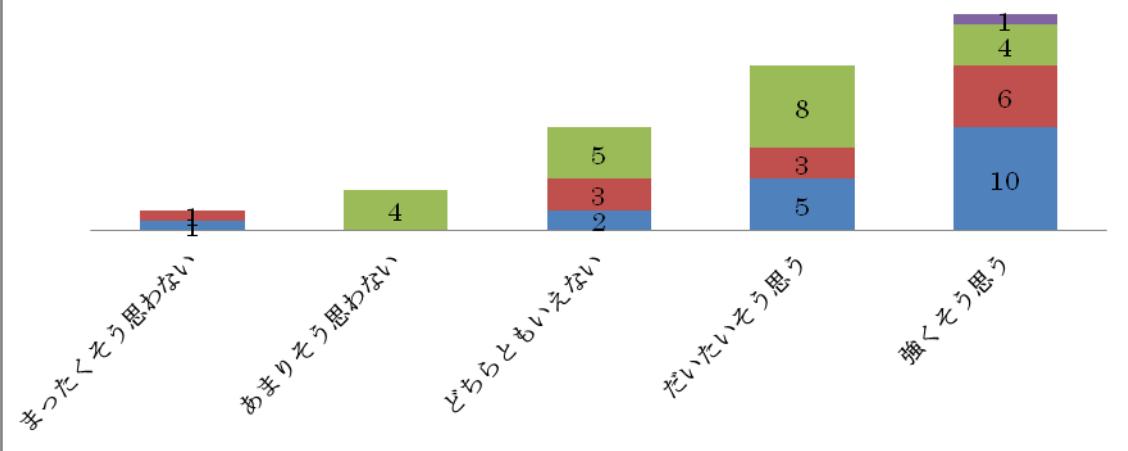


【質問11】質問9・10の説明に基づいたあなた自身の研究計画を、指導教員等は作成しましたか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科	1		2	5	10
人間科学研究科	1		3	3	6
工学研究科		4	5	8	4
薬学研究科					1

質問11

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

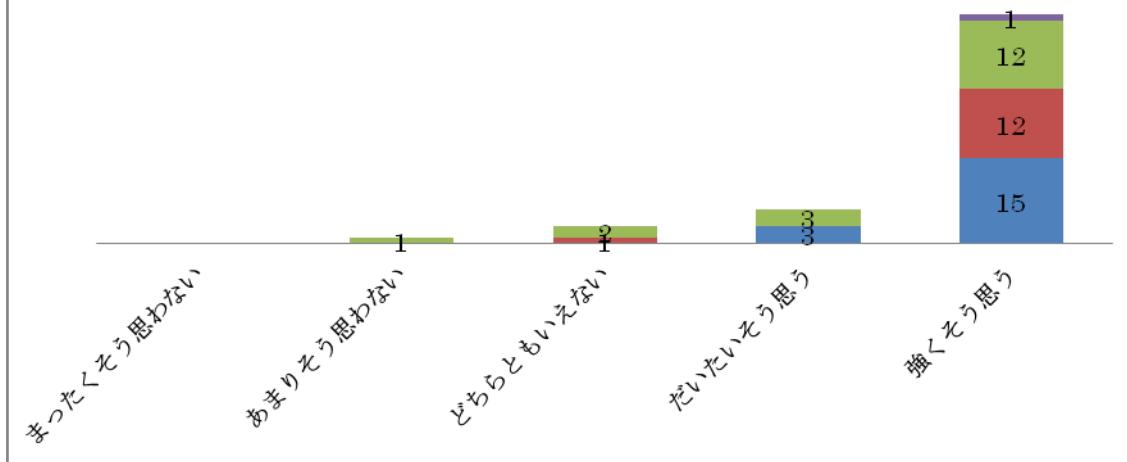


【質問12】学位論文の作成・公表（今後の予定や計画を含む）に向けて、指導教員等は熱意をもって指導や助言をしていますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科				3	15
人間科学研究科			1		12
工学研究科		1	2	3	12
薬学研究科					1

質問12

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

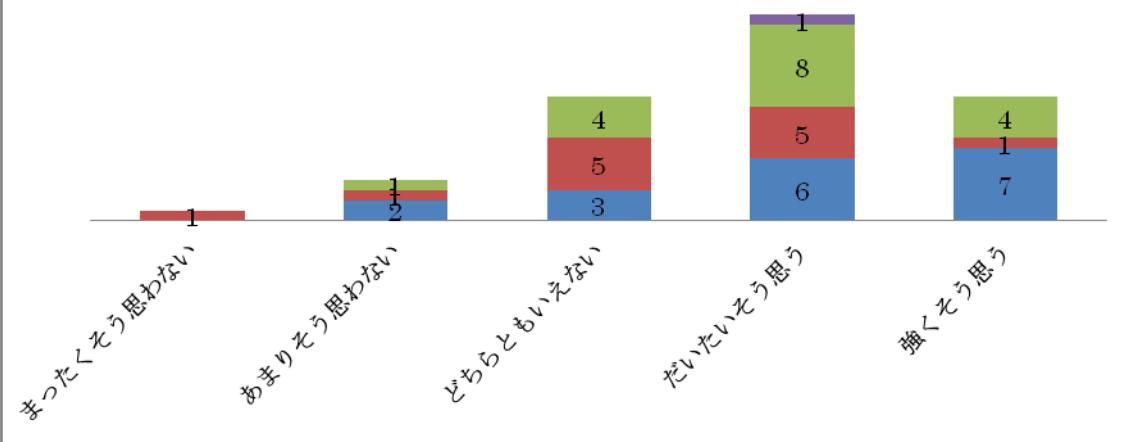


【質問13】自分自身として、研究は、順調に進んでいると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科		2	3	6	7
人間科学研究科	1	1	5	5	1
工学研究科		1	4	8	4
薬学研究科				1	

質問13

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

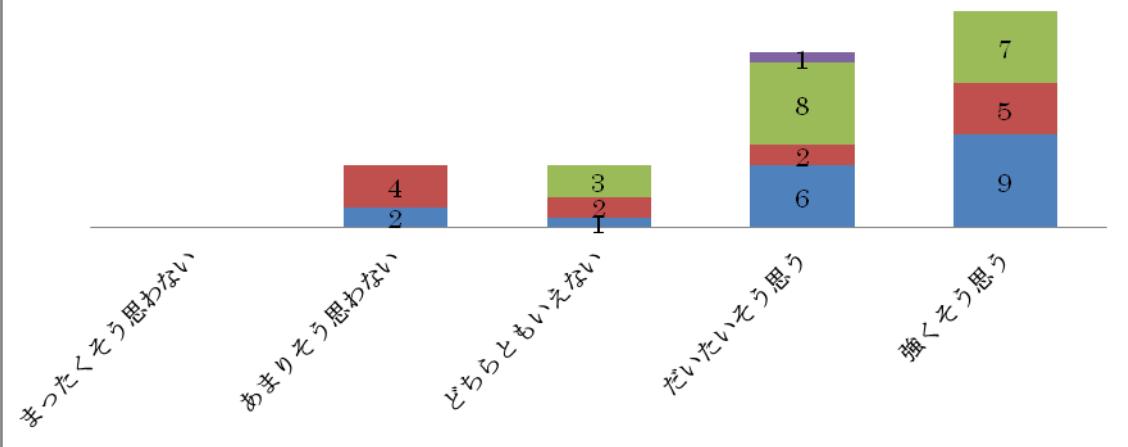


【質問14】これまでの研究の遂行を通じて、問題を発見し解決する能力が身についていると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科		2	1	6	9
人間科学研究科		4	2	2	5
工学研究科			3	8	7
薬学研究科				1	

質問14

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

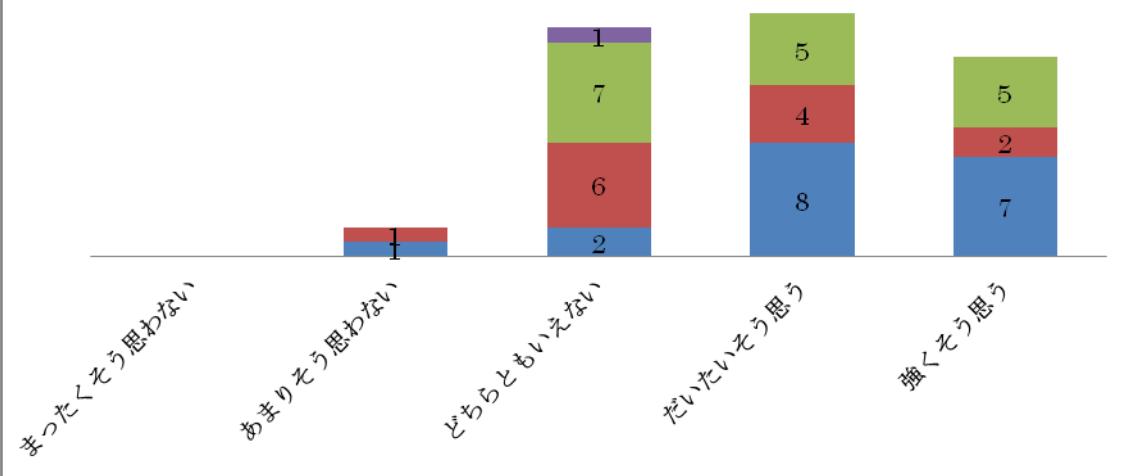


【質問15】授業以外の学修時間は十分確保していますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科		1	2	8	7
人間科学研究科		1	6	4	2
工学研究科			7	5	5
薬学研究科			1		

質問15

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

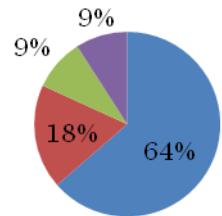


現在の1週間の受講科目数と1週間の平均的な授業以外の学修時間を記入して下さい。

経済学研究科

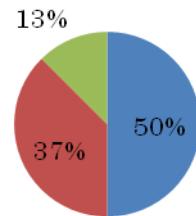
M 1

■ 0～14時間 ■ 15～28時間
■ 29時間～ ■ 無回答



M 2

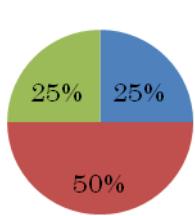
■ 0～14時間 ■ 15～28時間
■ 29時間～



人間科学研究科

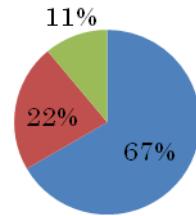
M 1

■ 0～14時間 ■ 15～28時間
■ 29時間～

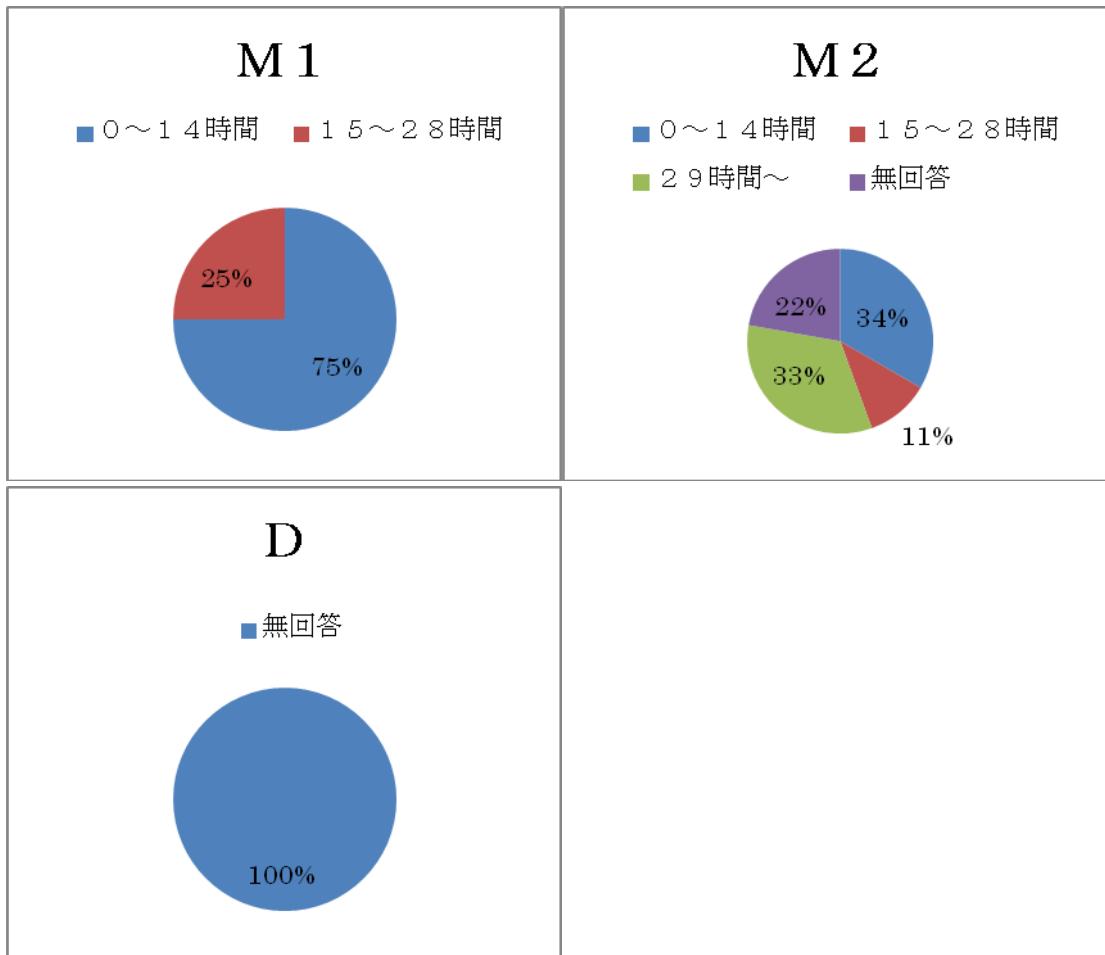


M 2

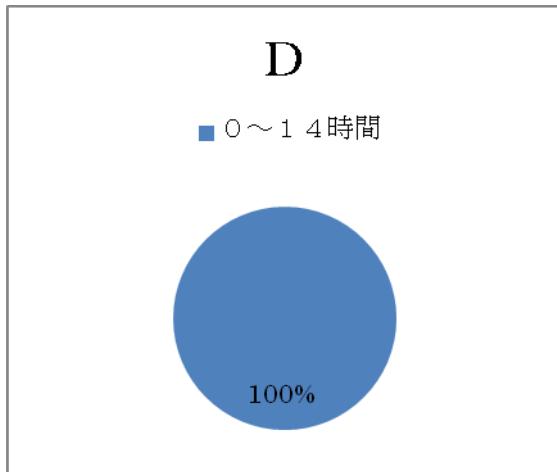
■ 0～14時間 ■ 15～28時間
■ 無回答



工学研究科



薬学研究科



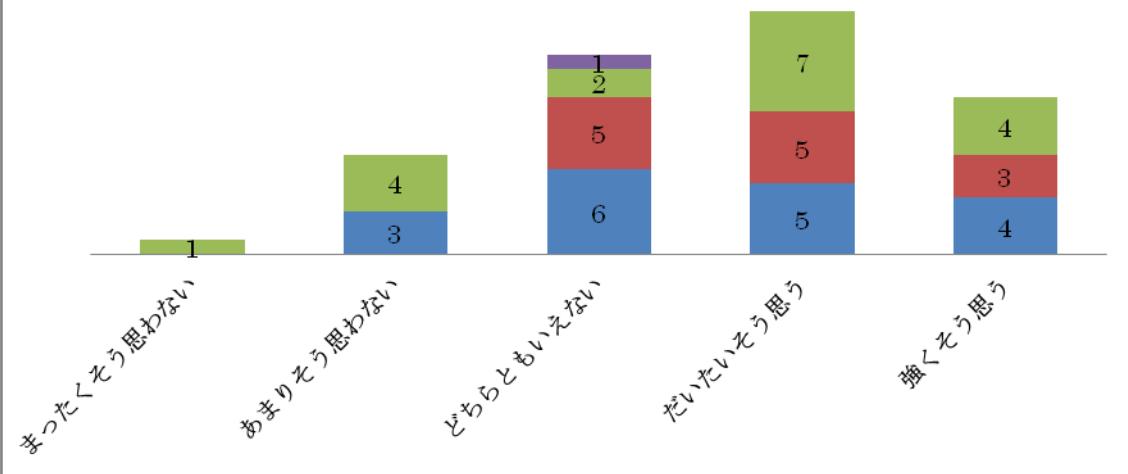
III 研究環境について

【質問16】研究を遂行するために必要な演習・実習・実験の失節や設備は、整備されていると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科		3	6	5	4
人間科学研究科			5	5	3
工学研究科	1	4	2	7	4
薬学研究科			1		

質問16

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

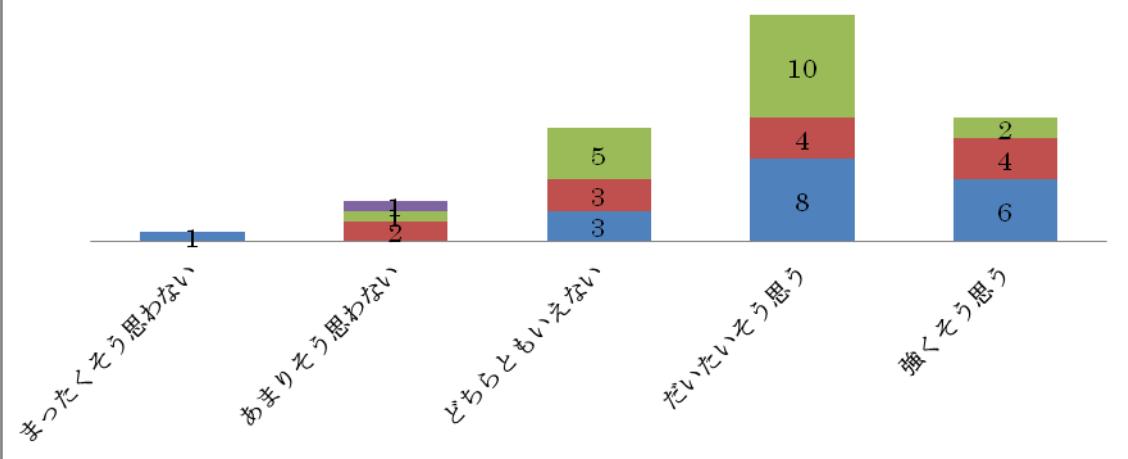


【質問17】研究上必要な情報収集環境（学術図書・雑誌、ネット、ソフトウェア等）は、整備されていると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科	1		3	8	6
人間科学研究科		2	3	4	4
工学研究科		1	5	10	2
薬学研究科		1			

質問17

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

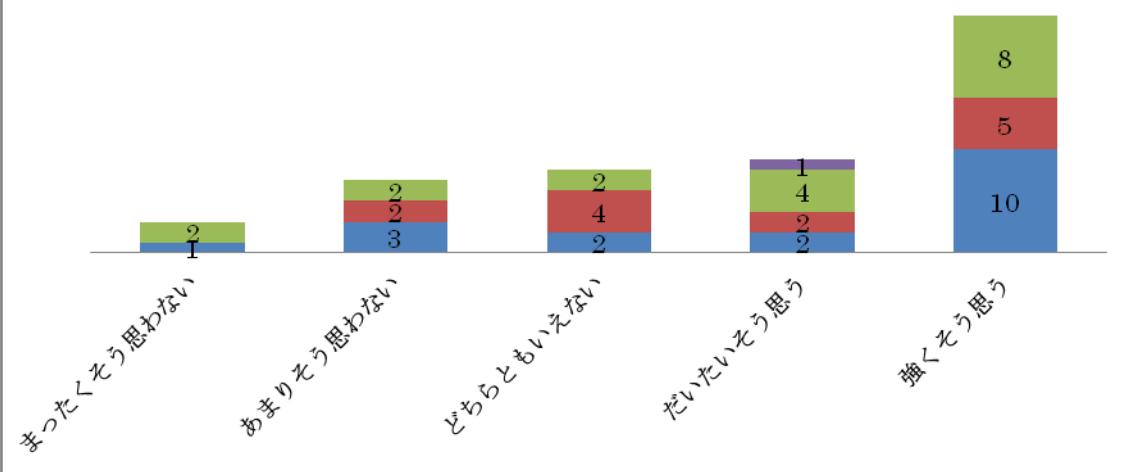


【質問18】学修に際し、図書館（分館を含む）は利用しやすいと思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科	1	3	2	2	10
人間科学研究科		2	4	2	5
工学研究科	2	2	2	4	8
薬学研究科				1	

質問18

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

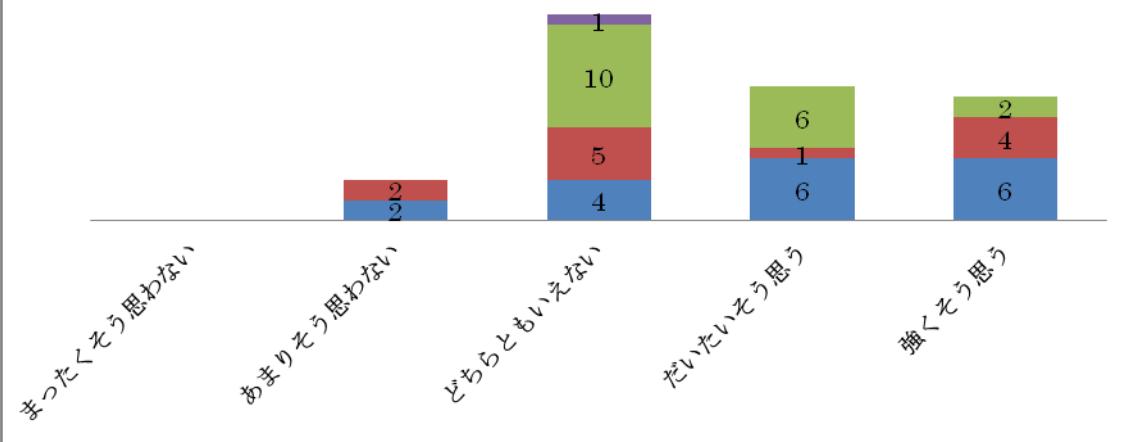


【質問19】内外の奨学生（金）制度等による経済的支援は十分であると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科		2	4	6	6
人間科学研究科		2	5	1	4
工学研究科			10	6	2
薬学研究科			1		

質問19

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

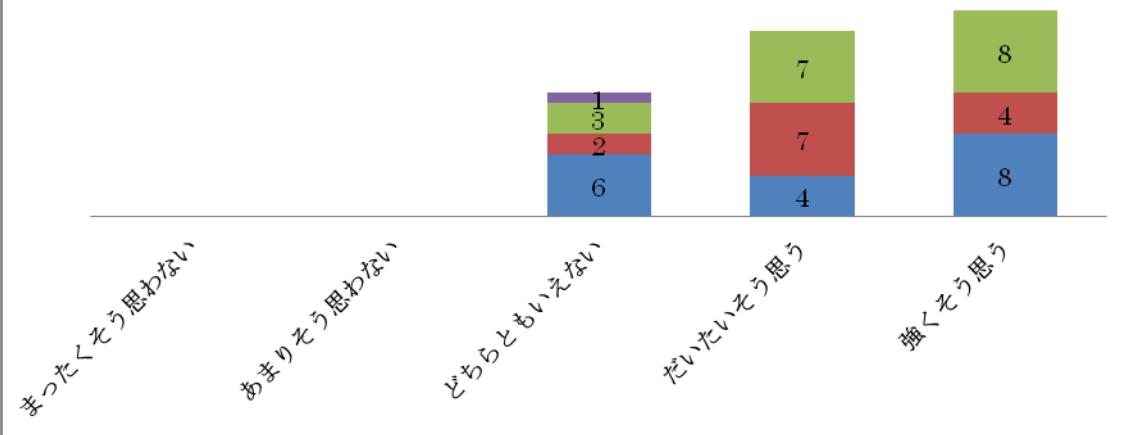


【質問20】大学院生として、ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタントあるいはメンターを経験することは、経済的な利得の点を除いても、プラスになると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			6	4	8
人間科学研究科			2	7	4
工学研究科			3	7	8
薬学研究科			1		

質問20

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

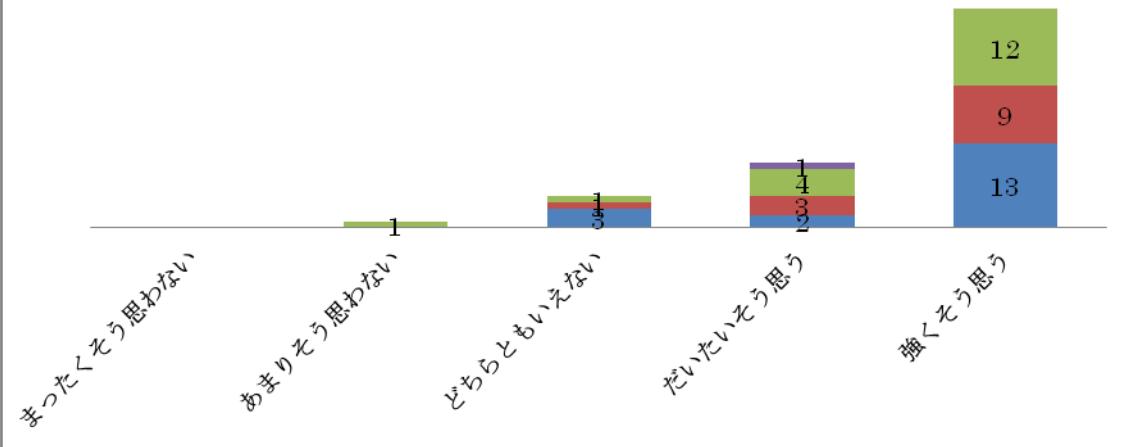


【質問21】研究室での日常生活や研究を進める上で、教員とのコミュニケーションは適切にとれてると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			3	2	13
人間科学研究科			1	3	9
工学研究科		1	1	4	12
薬学研究科				1	

質問21

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

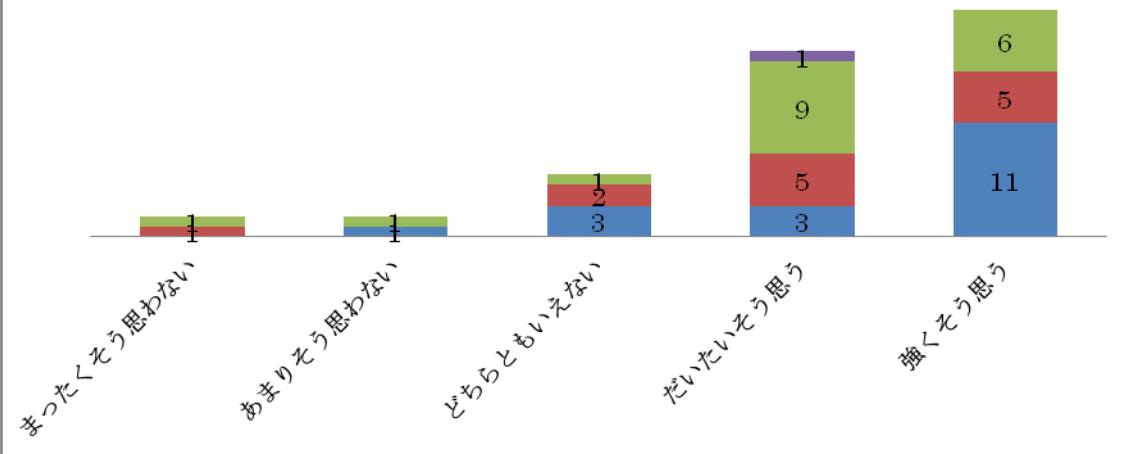


【質問22】日常や研究を進める上で、他の大学院生・学生等との人間関係は、円滑な状態にありますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科		1	3	3	11
人間科学研究科	1		2	5	5
工学研究科	1	1	1	9	6
薬学研究科				1	

質問22

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

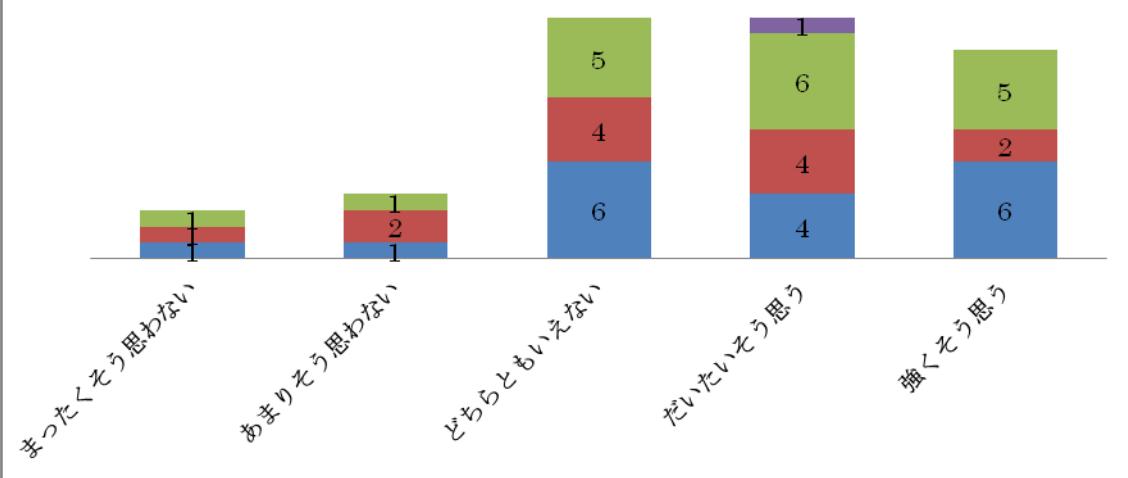


【質問23】日常や研究を進める上で、事務職員の対応は、適切ですか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科	1	1	6	4	6
人間科学研究科	1	2	4	4	2
工学研究科	1	1	5	6	5
薬学研究科				1	

質問23

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科



【質問24】大学院の教育・研究指導体制は、総合的には満足できると思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5
経済学研究科			4	7	7
人間科学研究科			1	9	3
工学研究科	1		3	11	3
薬学研究科				1	

質問24

■経済学研究科 ■人間科学研究科 ■工学研究科 ■薬学研究科

